

附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標：発見し、はくくみ、かたちにする学びの広場
めざす人間像：よりよい未来を共に創り出す人間

第1号 2023年7月20日(木)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

「トカゲを振り向かせる方法」

山口大学教育学部附属山口中学校 校長 前原 隆志

動物園の、一番奥の爬虫類コーナーに大きなトカゲがいます。たいてい、じっとして動きません。ガラスをとんとんたたいても動きません。こんなトカゲを、振り向かせる方法を知っていますか。

生物学者の福岡伸一さんは、次のように言っています。トカゲの目の前に、手をかざしておいて、急にぱっと引っ込める。すると、トカゲはキッと首をたてて、こちらを振り返るはずだ。なぜなら、生物にとっては、消えるということが重要な情報だから、というのです。

あったものがなくなる。なかったものが現れる。その動きこそ、生命体にとっては、重要な情報なのです。周囲の環境の変化を察知して、身構えることのできた者だけが、生き残れるのです。トカゲが1億年もの時間を地道に生き抜くことができたのは、消えてしまうものに敏感に反応する知恵があったから、ということができます。

私たちは、新たに登場するものに目を奪われがちです。新発売のシールが貼られたおにぎりに、つい手を伸ばしてしまうのは私だけでしょうか。けれども、毎日変化のないものや、消えてしまうものには、あまり注意を払いません。それでいいのだろうか、と考えてほしいのです。

私たちは、この数年間、コロナ禍でいろいろなことができないままに過ごしてきました。これまであたりまえだった一つ一つの行事も、なくなって初めてその大切さに、気づくことができました。私たちはこれからも、社会や地域の情報に敏感になり、たとえ消えてしまったとしても、これまで大切に守ってきた皆さんの思いや願いを、見過ごすことのない学校でありたいと思います。

【附属幼稚園】

今年度は様々な園行事を再開し、コロナ以前の賑やかさを取り戻しつつあります。6月には年長児が山口大学の農場に出かけ、昨年植え付けたジャガイモの収穫をしました。園内で栽培したタマネギも収穫し、保育アシスタントのお母さん方にも手伝っていただきながら、カレー作りをしました。年長児が頑張ったカレーを他の学年の子どもたちにもふるまい、園のみんなで温かなカレーを味わう、嬉しいひとときになりました。

今年度は親子遠足でも山口大学に出かけたため、幼稚園児にとっても“大学”が身近なワードになっています。また、世界の森公園などの地域の公園にも散歩に行くことも大好きな子どもたちです。園内外の活動を楽しみながら、いろいろな人に親しみを持ち、地域や大学を身近に感じられるようになってほしいと思います。



附属農場の技官さんに教わりながらジャガイモの収穫をしました



年長児で力を合わせておいしいカレーができました!



自然いっぱいの世界の森公園園外の初夏の自然にも触れました

【附属山口小学校】

5月20日(土)には運動会を行いました。コロナ禍で、全校そろっての開催は4年ぶりでした。前日の雨で天候が心配されましたが、当日は雨も止み、運動しやすい気候となりました。徒競走や玉入れ、綱引き、タイヤ奪い、リレーなど、仲間と励まし合いながら、最後まであきらめずに全力で取り組む姿が見られました。運動場いっばいに響き渡る全校そろっての応援合戦は圧巻でした。

6月8日(木)からフレンドリータイムの取組が始まりました。フレンドリータイムとは、いわゆる縦割り班活動で、6年生がリーダーシップを発揮しながら1～6年生と一緒に遊びます。異学年での交流の楽しさや仲間と協力することの大切さを感じ、より豊かな小学校生活を送ることができるようにしていきます。

6月28日(水)にはやまぐち学園の全教職員を招き、理科の授業(6年生)を公開しました。てこの規則性について、「支点からの距離とおもりの重さ」と「見えないてこを傾けようとする力」に着目しながら追究する子どもの姿が見られました。問いをもち、仲間と協働しながら学ぶ過程を通して、自ら学びをつなぐことのできる子どもをやまぐち学園の全教職員で育てていきたいと考えています。



全力で取り組んだからこそ
最高の運動会ができました



縦割り班でめあてを決め、
楽しく遊びました



問いをもち、仲間と協働しな
がら学ぶことができました

【附属山口中学校】

6月24日(土)・25日(日)に附中学園祭を行いました。1日目は「附中万博」。今年は「日本を旅する」というテーマで、日本を12地区に分けて、各地域の特色を生かした展示や体験型ゲームを企画しました。保護者や小学生などの来場者にも笑顔や感動を届けるために、附中生が一丸となって企画・運営に取り組みました。2日目は「WAリンピック」。グラウンドで赤・白・黄・紫の4つの色(国)に分かれ、様々な競技を全力で競いました。特に最後の「表現」では、各色の練習の成果が十分に発揮された感動の集団での演技となりました。両日も、附中生の個性やアイデア、団結力が結集された、素晴らしい行事となりました。

(下記のQRコードで詳細を閲覧できます)



日本旅行にいつてらっしゃ〜い!



近畿エリアで流鏝馬体験



聖火を手に団長の宣誓!



表現優勝「白狼団」

7月5日(水)山口大学教育学部から鷹岡学部長にお越しいただき、全校生徒に向けての講演会を行いました。「大学とはどんな場所なのか?何を学ぶのか?人生の夏休みって本当?」など、大学への憧れや素朴な疑問を鷹岡先生に質問し、一つひとつ丁寧に答えていただきました。附属中学生として、改めて大学を身近に感じ、自分の進路について真剣に考えるきっかけとなりました。



大学について直接聞くチャンス!



附中学園祭HP

8月31日まで公開予定